

特許情報の調べ方

特許とは、「権利者が独占的に発明を使って製品を製造・販売できる権利を国家が付与すること。」
(『最新知的財産権<特許・実用新案・意匠・商標・著作権>のしくみがわかる事典:読む引く使う図解』(小林正樹/監修
三修社 2007.6)巻末付録 1 知的財産法ミニ用語集p.5)【507.2/929N】

この調査ガイドは、「1.特許情報の調べ方」、「2.特許情報に関するサイト」「3.特許情報の基礎知識」の構成になっています。

1. 特許情報の調べ方

大阪府立図書館では『特許公報』等の公報類は所蔵していません。

『特許公報』等を閲覧できる場所

・独立行政法人 工業所有権情報・研修館 公報閲覧室

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-4-3(特許庁庁舎 2 階)

「公報の閲覧」<https://www.inpit.go.jp/data/koho/>

ここでは、インターネットでの調査方法を中心にご紹介します。

●web 特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)(<https://www.j-platpat.inpit.go.jp>)

特許・実用新案・意匠・商標・審決の公報類、関連情報及び主要国特許庁の特許公報等を、文献番号・キーワード・各種分類等から、インターネットを通じて無料で調べることができます。

それぞれのメニューにおける検索可能範囲は、トップページにある「文献蓄積情報」で確認できます。

(Ⅰ)キーワードから調べる

(1)トップページ「簡易検索」

詳細な条件を指定せず、キーワードで簡単に特許・実用新案、意匠、商標を検索できます。

(2)トップページ>特許・実用新案>特許・実用新案検索

書誌的事項・要約・請求の範囲のキーワード、分類(FI・Fターム、IPC)等から、特許・実用新案公報、外国文献、非特許文献を検索できます。

(Ⅱ)文献番号から調べる

トップページ>特許・実用新案>特許・実用新案番号照会／OPD

検索欄に、番号種別及び文献番号を入力して、各種公報や世界各国の特許庁が保有する出願・審査関連情報(ドシエ情報)を検索できます。

検索入力する際は、文献番号の元号部分をアルファベットに直し、かつ年数部分は二桁にする必要があります。(例:「特開平 8-123456」であれば、番号種別欄で「公開番号・公表番号(A)」を選択、

番号欄に「H08-123456」と入力します。）

J-PlatPat で蓄積されている範囲を一部抜粋し、まとめたものが次の表です。

文献種別	蓄積範囲	種別記号	文献番号表示例
公開特許公報	昭 46-000001 ~	A	特開平 11-123456 または特開 2000-123456 等
公告特許公報	大 11-000001 ~ 平 08-034772	B	特公平 8-34772 等
特許公報	2500001 ~	B	特許番号 第〇〇号
特許発明明細書	1 ~ 216017	C	特許番号を入力
公表特許公報	昭 54-500001 ~	A	特表平 11-500001 または特表 2000-500001 等

(J-PlatPat の「文献蓄積情報(特許・実用新案)」より一部抜粋、加工しています。)

この表では割愛した項目ですが、公開技報については、掲載許諾を得た文献のみ蓄積されています。

なお、戦前の特許を調べる場合は、番号種別欄で「特許番号(B)・特許発明明細書番号(C)」を選択し、番号欄に特許番号を入力すると検索できる可能性があります。

例:御木本幸吉の養殖真珠の特許(明治 29 年の特許)について調べるには、特許第 2670 号なので、番号種別欄で「特許番号(B)・特許発明明細書番号(C)」を選択、番号欄に「2670」を入力。

また、「商品名 特許番号」等のキーワードでインターネット検索(google 等)をしてみると、文献番号が分かる場合があります。

例:「グルタミン酸 特許番号」、「ビタミン B1 特許番号」等

2. 特許情報に関するサイト

●web 特許庁ホームページ(<https://www.jpo.go.jp/>)

特許の出願や、弁理士試験の情報の他、「特許出願技術動向調査」等の調査報告や、「特許行政年次報告書」、「知的財産活動調査」、「グリーンイノベーション分野、ライフイノベーション分野の特許出願状況」等の統計情報もあります。

●web 独立行政法人工業所有権情報・研修館ホームページ

(<https://www.inpit.go.jp/>)

公報や審査資料を検索・閲覧することができます。

企業、大学、研究機関等の開放特許を一括して検索できる、開放特許情報データベース(<https://plidb.inpit.go.jp/>)もあります。

●web J-GLOBAL(<https://jglobal.jst.go.jp/>)

特許に加え、文献や研究者等の情報も調べることができます。

3. 特許情報の基礎知識

最後に、特許情報の基礎知識をまとめます。

特許法第一条

この法律は、発明の保護及び利用を図ることにより、発明を奨励し、もつて産業の発達に寄与することを目的とする。

特許制度は、発明者に一定の期間・条件のもと特許権を与え、発明を保護すると共に、優れた技術知識を広く世に公開して、技術の進歩や産業の発達に役立たせることを目的としています。

(Ⅰ)各種公報類

公報類は、権利としての範囲、技術内容、発明者等、様々な情報が記載されています。

公報には、特許庁の審査で拒絶理由がなかった出願内容を編纂して発行される**特許公報**、出願日から1年6ヶ月経過後(一部例外を除く)に発行される出願内容を公開した**公開特許公報**等、様々な種類があります。

(Ⅱ)特許分類

特許の分類には、**国際特許分類(IPC)**と、国際特許分類記号に付加することで、技術内容をさらに細分化した**FI**、テーマに分け、別の視点で展開した**Fターム**という**日本独自の分類**があります。

これらはJ-PlatPatの「特許・実用新案分類照会(PMGS)」で参照することができます。

(1)国際特許分類(IPC:International Patent Classification)

世界各国共通の分類。分類表は、特許庁ホームページで公開されています。

(<https://www.jpo.go.jp/system/patent/gaiyo/bunrui/ipc/ipc8wk.html>)

(2)FI(File Index)

日本独自の分類。IPCを基礎にして細分化したもの。

細分化のために付加されるのは、展開記号、分冊識別記号、ファセット分類記号です。

(3)Fターム(File Forming Term)

日本独自の分類。特許文献を「テーマ」と呼ばれる各技術範囲で分け、別の視点で展開したもの。

(Ⅲ)外国の特許情報

●web 特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)(<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>)

トップページ>特許・実用新案>特許・実用新案番号照会／OPD

各国の特許文献を、文献番号から参照することができます。和文抄録が作成されている場合、検索結果にリンクが表示され、和文抄録を見ることができます。

OPD 照会を選択すると、世界各国の特許庁が保有する出願・審査関連情報(ドシエ情報)を、文献番号から参照することができます。

●web Espacenet(<https://worldwide.espacenet.com/?locale=jp> EP)

欧州特許庁のサイト。100カ国以上の特許を検索することができます。(収録年の範囲は、国によって異なります。)

特許に関する相談について

特許に関して相談できる機関をご紹介します。

※いずれも事前予約が必要。詳しくは各連絡先にお問い合わせください。

◆日本弁理士会関西会

住所:大阪市北区梅田 3-3-20 明治安田生命大阪梅田ビル 25 階

連絡先:06-6453-8200

<https://jpaa-soudan-kansai.jp/>

◆知財総合支援窓口(大阪府)(運営事業者:一般社団法人大阪発明協会)

連絡先:06-6444-2300

※相談窓口は次の 2 ヶ所がありますが、事前予約は同じ連絡先です。

「大阪府知財総合支援窓口」

住所:大阪府大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センタービル 4 階

「ものづくりビジネスセンター大阪」

住所:東大阪市荒本北1-4-1 クリエイション・コア東大阪南館1階

参考資料

- ・『特許出願のてびき 第 38 版』(創英 IP ラボ/編 発明推進協会 2022.10)【507.2/159NX】
- ・『特許調査入門:サーチャーが教える J-PlatPat ガイド 第 3 版』(酒井美里/著 発明推進協会 2020.5)【507.2/76NX】
- ・『最新知的財産権<特許・実用新案・意匠・商標・著作権>のしくみがわかる事典:読む引く使う図解』(小林正樹/監修 三修社 2007.6)【507.2/929N】
- ・特許庁ホームページ(<https://www.jpo.go.jp/>)
- ・国立国会図書館リサーチ・ナビ「特許番号から特許原文献を入手する(その 1)～特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)～」(<https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/stm/1ipdl>)
- ・国立国会図書館リサーチ・ナビ「戦前の日本特許の調べ方」(https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/stm/post_400387)

